

心筋梗塞（急性冠症候群）疑い

- ・ 20分以上の胸部痛、絞扼痛
- ・ 心電図上のST-T変化、持続性の心室頻拍
- ・ 放散痛（肩、腕、頸部、背中）
- ・ 随伴症状（チアノーゼ、冷感、嘔気・嘔吐、呼吸困難）
- ・ 既往歴（狭心症（ニト口服用）、心筋梗塞、糖尿病、高血圧）

等

○ 確認の実効性を高める工夫について

特に重要な事項等について、観察カードの策定や活動記録票等を工夫し、関係者間で共通認識を図り、実効性を高めることが有効である。

- ・ 参考：東京消防庁観察カード

外傷観察カード <東京消防庁>			
総合判断			
A B C			
外見	状態	歩行可能・不能(仰・側・腹・坐・その他)・虚脱	
	顔色	正常 黄・紅潮 土気色 蒼白・チアノーゼ	
	表情	正常 興奮・不安・苦悶 無表情・うつろ	
	嘔吐・失禁	なし 嘔気・嘔吐・吐血・咯血 失禁(大・小)	
	皮膚体温等	正常 乾燥・発熱・湿潤・発汗・浮腫 冷汗・冷感	
眼 結膜 瞳孔 四肢末梢	正常 蒼白・チアノーゼ		
バイタルサイン	意識	清明 1 2 3 10 20 30 100 200 300 A自発性喪失・I便尿失禁・R不穏状態 意識障害進行	
	呼吸	性状	正常 浅・深・喘鳴・異常(呼吸) 胸部挙上不十分 感ぜず
		数(回/分)	成人 16~19 20~29 10~15 10未満または30以上 乳幼児 24~30 31~34 15~23 15未満または35以上
	脈拍	呼吸音	正常 左右差(なし・あり) 乾性ラ音・湿性ラ音 狭窄音
		緊張度	正常 強・弱 左右差(なし・あり) 微弱
	リズム	整 不整() 総動脈れず	
		数(回/分)	成人 50~100 101~119 50未満または120以上 乳幼児 80~120 121~149 80未満または150以上
	血圧	測定値	/ / 左右差(なし・あり)
		収縮期	140~90 141~199 90未満 測定不能
		SpO ₂	93~97% 90~92% 90%未満(%)
瞳孔	大きさ	正常 縮小(両側)・不同(左>・右>) 散大	
	反射	正常 にぶい なし	
	偏視	なし 右・左・上・下・右斜め・左斜め・共同偏視	
左() 右()		1 ● 2 ● 3 ● 4 ● 5 ● 6 ● 7 ● 8 ●	

※1 赤枠の項目が1つでもあれば、重症と判断する
 ※2 緑色の項目は総合的に重症度を判断する

主訴・局所状態	傷		創		損傷	
	部位	範囲	深さ	出血	損傷	状態
意識	なし	ふるえ・弛緩・痙攣 局所・全身 間代・顔面	しびれ・悪寒・めまい・耳鳴り・動悸 筋力感・胸内苦悶	言語・知覚 運動 上肢・下肢・片(左・右) 上半身・下半身・全麻痺	除脳硬直・除皮質硬直	
	なし	顔・鼻・眼・鼻・口・耳・頸・肩・胸・腹・腰・背・腕・膝	前額 前胸部 上腹部 上肢左(肩・上腕・肘・前腕・手) 前頭 側胸部 下腹部 右(肩・上腕・肘・前腕・手) 側頭 背 側腕部 下肢左(そ脛・大腿・膝・下腿・足) 後頭 頭頂 右(そ脛・大腿・膝・下腿・足)	痛み 純痛・激痛 限局・放散 間歇・持続	止血・持続 出血量 少・中・多 約()	皮下血腫 毛細血管 耳・鼻出血 中梗 末梢(静脈・動脈) 嚔成(耳・鼻) 嚔 (動脈・静脈)
創傷	なし	擦過傷(創)・打撲・挫傷(創) 咬創・切創・割創・挫創	刺創・刺創 切創・切創	頭・頸・胸・腹・鼠蹊部への穿通性外傷、フレイルテスト 多指切断、四肢の切断、顔面裂傷、顔面刺激症状、頰管損傷 腹部膨隆、内臓露出、頸部又は胸部の皮下気腫、血気胸疑 外頸静脈の著しい怒張、デタローピング損傷 15%以上の熱傷を伴う外傷、顔面熱傷・気道熱傷		
	なし	捻挫・腫脹・脱臼・変形・非開放 陥没・開放・動揺・硬直	鎖骨・肋骨 頸椎・肋骨(胸・腰) 胸壁運動の左右差 胸壁動揺・骨盤・両側大腿骨・前脛骨			
既往症	なし	心疾・脳血・高血・消化・泌尿・その他				
準備搬送(重症)	頭部創傷 胸部創傷・刺創 高所墜落(約5m以上の場合) 搬送器具に巻き込まれた 頭・頸・体幹部が挟まれた 車から放り出された。 同乗者の死亡 救出に、20分以上要した	車の標記 車が高度に損傷している 車にひかれた 5m以上高所へ飛ばされた 発傷機転(軽微したバイクと面転者の追撞、大・自動車と歩行者、自転車・衝突等)から重症と疑える場合				
薬剤使用歴:						
最終救命時刻:						

2006